

「大町市WebGISによる地図情報配信」検証報告(中間)と導入効果

H20.2

1. 庁内イントラによる全庁配信 …………… 全庁約300台のパソコンに配信中、H18.4月より美麻・八坂支所に配信、その他山岳博物館・消防署で稼働
中学校・保育園・各地区公民館・大町病院・農業支援センター等もアクセス可能
多くの職員が保有データの認識、各机上での閲覧、担当者以外取り付きにくかったGISの操作を日常で利用
2. 地図等の共通データの一元整備と管理 …………… 平成15年度より共用空間データの整備として、各施設台帳で共通利用できる多重縮尺を合成(ハイブリッド)した
地形図(1/500~1/20,000)を16年度までに整備し、現在大町地区のすべての施設台帳データは、この地形図上
で稼働中。基盤となる地形図は、高精度な縮尺を擁し地方自治体における様々な情報の表示に対応し、且つ
迅速で、広く利用者の操作の向上、情報の利用を求めるものとして運用中
3. 配信できるデータの検討 …………… 地籍図デジタルデータは、透明表示として検索時一筆強調表示で利用、その他の地図データは、全庁に配信、
水道台帳等業務専用管理は、USBロック及びパスワードで利用者を制限して配信地図上で管理運用
H19.11月よりインターネットによる外部配信[大町ガイドマップ]配信開始(防災情報等)
4. 縮尺による地図、画像データの表示展開時間の検証 …………… 縮尺及び表示範囲によるデータ転送速度の検証、立ち上がり、スクロールの速さ、属性表示の高速化を行うため
のシステムの改良、データの格納方法の検証、ハード・OS・ネットワーク別の稼働検証を実施
5. 検索、加工機能の操作検討 …………… 地籍図データでの地番検索及び住宅地図による店名、個人住宅の検索等広く利用、都市計画用途地域、街路、
路線検索を利用。図面切り出し機能による地図・空中写真等のエクセル・ワードでの画像利用
印刷時の図形・文字・アイコンなどの書き込み機能も利用
6. 簡易GIS機能の検証及びデータの保管と共有化検討 …………… 個別業務にて施設の位置及び図形データを入力し、それぞれの属性情報やデジカメやエクセル・ワードなどを
添付し独自のGIS管理をしている。
(ケーブルテレビ架線情報・下水道エリア・除雪路線・ごみ不法投棄・通学路・安全マップ・介護医療etc)
7. 台帳整備管理業務の一元管理化マニュアル化 …………… 地図情報全庁配信システム上での台帳管理システムの稼働、現在下水道台帳が稼働、農地情報管理システム
構築、地籍管理システム構築、道路台帳管理システム構築、防災情報管理システム構築
地形図の整備及び各台帳管理については、測量・調査・地図編集・データ構築・帳票の作成、電子納品成果の
様式までを記載した整備マニュアルを各業務ごとに整備
8. 共通整備による台帳補正メンテナンスのコストダウン …………… 毎年の道路台帳補正業務において、道路以外の地形地物の修正、道路に附属する上下水道等の新規施設等の
測量調査を同時に発注実施することによる二重調査、二重投資の削減を図る
建設関連の測量調査(工事)と管理運用の測量調査(台帳)の区別の明確化
9. クリアリングハウス構築検討 …………… 管理運用される各種情報、データがどこに・どのような形でいつ・誰が整備したのか、市情報センターのサーバー
ですべてのデータを管理運用する事を目的とし、現状でのそれぞれの主管課が独自に管理する情報、データの
集約・整理・移行と共通認識・利用の体系・手法を検証中